



子どものアレルギー疾患と対応 ～学んで「食」を広げよう～



花粉症やハウスダスト、さらには食物アレルギーなど…アレルギーはとっても身近で、長く付き合うことになる疾患の一つです。この機会にアレルギーを学び、子育てにお役立てください。

アレルギーの専門医に日頃の疑問を聞いたり、注意すべきところを知って、適切な付き合い方をすることで「食」を家族で楽しみましょう。



第2回 「アレルギー疾患とその対応を学ぼう」

日時：2015年11月7日（土） 参加費：無料

時間：午前10時～正午（個別相談あり要予約）

講師：獨協医科大学小児科アレルギー専門医 吉原 重美 医師

場所：獨協大学 6棟306 定員：30組（託児あり）

先生からのごあいさつ



「私が小児科を選んだ理由は単に子ども好きで、小児の成長・発達を目の当たりにできることです。また、私の専門は小児アレルギーと小児呼吸器疾患ですが、基本的には子どもの病気を全般にみます。このように、小児科医は1人の子どもを全体的に診られることが良い点だと思います。時には、家族全体を診るという視点が必要になることさえあります。この際、治療がうまくいき、患児のみならず、その家族の1000倍も嬉しそうな笑顔を見るのが楽しみです。私の願いは、多くの医学生が小児科医となり、この感激を味わってほしいことです。そのために、1)世界的視野にたち常に新しいEvidenceに基づく患児のための小児医療 2)患児の医療に応用できる基礎および臨床研究 3)栃木県唯一のアレルギー認定施設としての専門医となるための教育および指導 4)他施設との共同研究(大学・研究施設・企業等)を常に念頭におき、より良い小児医療ができるよう努力していく所存であります。」

11月7日（土）、獨協医科大学小児科 吉原重美医師による「子どものアレルギー疾患と対応」を開催いたしました。花粉症、食物アレルギー、アトピー性皮膚炎などで悩みを持つ親子さんが受講しました。

<講演の様子>



乳幼児のスキンケアのお話や、ステロイドの副作用を心配するあまり、間違った使い方をしてしまい、肌の状態を悪くしてしまった症例などを説明してくださいました。アレルギーを正しく理解し、薬を効果的に使う方法の大切さを教えていただきました。

<エビベン体験>



エビベンの実物を使い、参加した父母の方に実体験していただきました。

その後サンプルのエビベンを回覧しました

株式会社ナチュラルサイエンスさんからは参加者のみなさんに「ママ&キッズ」のサンプルと基肌育BOOKをご提供いただきました。